

# 共通科目シラバス（令和8年度（2年生））

## 目 次

### <教養科目>

- 1 人間関係論
- 2 くらしと法律
- 3 体育
- 4 外国語（英会話）
- 5 情報処理

### <共通科目>

- 6 農業経営基礎
- 7 農業簿記
- 8 農業気象概論
- 9 農業機械応用
- 10 環境保全型農業
- 11 6次産業化論
- 12 農業法人
- 13 農業協同組合と農業リーダー
- 14 農産物の安心・安全

授 業 科 目	(科目名) 人間関係論			講師名	神菌 紀幸 (志學館大学教授)		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義方式						
テーマ及び達成目標	<p>人間の尊重, 合理的精神, 民主社会の倫理等の視点から人間関係について理解を深めるとともに現代社会に対する判断力の育成と人間の生き方について考える。</p> <p>個別的な人間関係をより深く理解するためには, 確かな経験と知識に裏打ちされた人格的な成長と科学的な視点が必要となる。さらに円滑な人間関係を保つためには, 相応の対人関係能力が必要である。これらの促進のために言語的な読みとりの能力, 表現力, データ分析力等の向上を目指す課題を取り入れる。</p>						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	作成資料						
授業スケジュール	<p>1 社会行動のしくみ</p> <p>2 社会行動のしくみ</p> <p>3 知的なはたらき</p> <p>4 人間関係と社会</p>						
成績評価	筆記試験 (70点) ・出席状況 (15点) ・学習態度 (15点)						

授 業 科 目	(科目名) 暮らしと法律			講師名	柳田 明日香 (志學館大学教授)		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義方式						
テーマ及び達成目標	暮らしに役立つ多くの情報を提供する法律がどのように消費生活に関与しているかを明らかにし、その上で人間が法的主体であることの大切さを考えさせる。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	作成資料						
授業スケジュール	1 暮らしを守る法律  2 暮らしを守る法律  3 土地や契約に関する法律						
成 績 評 価	筆記試験 (70点) ・出席状況 (15点) ・学習態度 (15点)						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 体育			講師名	各担任		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	実技方式						
テーマ及び達成目標	<p>各種スポーツ活動を通じて、身体の鍛錬を行い、健康的な生活が送れる態度を養う。</p> <p>軟式野球・サッカー・バレーボール・バスケットボール 卓球・硬式テニス・バドミントン 等</p>						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	体育着，運動靴，種目に応じた用具類						
授業スケジュール	1 各種体育競技・レクレーションなど  2 校内体育大会						
成績評価	技能審査及び意欲 (100点)						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 外国語 (英会話)			講師名	下 桐 由 香		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義方式						
テーマ及び達成目標	海外の文化やコミュニケーションについて基礎的な内容を学び、あいさつなどの簡単な日常会話を身につけることを目的とする。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	作成テキスト						
授業スケジュール	1 外国（目的地）の風土・文化について 2 あいさつなどの基礎的な日常会話について 3 学習のまとめ						
成 績 評 価	筆記試験，学習態度，出席状況の総合評価（100点）						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 情報処理			講師名	株式会社 CoCoDigi		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	演習方式						
テーマ及び達成目標	<p>PowerPoint2013 を使用して、わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための様々なテクニック、プレゼンテーションの際にポイントとなる準備などを修得する。</p> <p>また、卒業論文等の発表のためのプレゼンテーション作成と演習を行う。</p>						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	作成資料						
授業スケジュール	<p>1 プレゼンテーションの基礎</p> <p>2 PowerPoint によるプレゼンテーション資料の作成・操作</p> <p>3 復習・評価</p>						
成績評価	作品提出 (100点)						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 農業経営基礎			講師名	J A 鹿児島県信連		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義方式						
テーマ及び達成目標	<p>農業経営においては、持続的に最高の所得の実現を期待する農家家計の私経済的立場と安全にして安価な食料の供給を求める国民経済的立場の両者を同時に満足させねばならないので、これまでの農業経営の推移を現実的に把握して事態の本質を見極め、将来の経営問題の発生に対応する能力を養う。</p> <p>本学年においては、農業経営学の目的が個々の農家の経営改善による農家経済力の向上にあることから、個々の農業経営の実態把握及び分析そして改善の方向を確立する手法を学習する。</p>						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	作成資料						
授業スケジュール	<p>1 農業税務 農業簿記</p> <p>2 農業金融基礎 農地制度</p> <p>3 農業の基礎知識 農業経営（農業分析・農業改善）</p> <p>4 農業情勢（日本の農業情勢・鹿児島県の農業情勢） テスト</p>						
成績評価	筆記試験（70点）・出席状況（15点）・学習態度（15点）						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 農業簿記			講師名	各科担任		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義及び演習方式						
テーマ及び達成目標	<p>農業で用いる簿記は、特有の勘定科目等が多く、商業簿記や原価計算を必要とする工業簿記とは大きく異なる。さらに各種の簿記があるが、勘定科目等が農業簿記とマッチしていない。</p> <p>そこで、農業簿記に特化した農業の実体・実状等を反映して実践に即対応できる「学んだ知識が即実際に役立つ」を実現できるように農業簿記の計算原理、勘定と勘定計算、仕訳と転記、試算表、決算整理、決算までの帳簿会計を体系的に学習する。</p>						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	<p>農業簿記検定 教科書3級 大原出版</p> <p>農業簿記検定 問題集3級 大原出版</p> <p>農業簿記検定過去問題集3級 日本ビジネス技能検定協会</p>						
授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 決算の手順と決算整理事項について</li> <li>2 精算表の作成及び例題による演習</li> <li>3 決算（帳簿の締め切り）について 決算書について</li> </ol>						
成績評価	<p>受講態度 20点 筆記試験(演習問題等) 80点で評価する。</p>						

授 業 科 目	(科目名) 農業気象概論			講師名	神田 英司 (鹿児島大学農学部准教授)		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義方式						
テーマ及び達成目標	気象を理解するのに必要な基礎知識を周知させるとともに、気象と農作物の関係を理解する。						
使用教材 ①テキスト・教材	作成資料						
授業スケジュール	1 地域と気象 2 大気現象の基礎 A) 地球の熱収支と大気 B) 大気の熱力学 C) 雨のしくみ D) 風と大気の運動 3 気 象 A) 高気圧、温帯低気圧と前線 B) 熱帯低気圧(台風)と梅雨前線 C) 異常気象 4 気象災害 5 気候と農業 6 微気象と作物生産 7 気象に関する情報とその利用						
成 績 評 価	筆記試験 (70点) ・ 学習態度 (30点)						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 農業機械応用			講師名	橋口 太亮 (農大農業研修課講師) 窪園 尚也 (農大農業研修課講師)		
履 修 学 科	全学科	履修学年	畜産1年 農学2年	履修時限数	45	単位数	3
授 業 形 態	実習方式						
テーマ及び達成目標	けん引農業機械の運転操作技能を習得し、けん引自動車運転免許を取得する。						
使用教材 ②参考文献	1. トラクタ, トレーラ 2. 作成資料						
授業スケジュール	1 オリエンテーション, 資料作成 2 トラクタ運転実習 (1 コース) 3 トラクタ運転実習 (2 コース) 4 トラクタ運転実習 (総合練習) 5 小型農業機械のメンテナンス方法研修 6 農耕けん引運転免許試験						
成 績 評 価	模擬試験2コース (100点) で評価 (道路交通法に基づく運転免許試験実施基準に準じて採点を行う。)						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 環境保全型農業			講師名	経営技術課職員 普及情報課農業専門普及 指導員 有機農業担当普及指導員 先進農家		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義方式						
テーマ及び達成目標	<p>環境保全型農業の意義や目的を学習するとともに、実践事例を通してその必要性を理解する。</p> <p>さらに、環境と調和した農業の一翼を担う有機農業についても理解させる必要がある。</p>						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	講義でその都度指示						
授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境保全型農業の意義・目的 環境にやさしい農業の推進について IPMについて 農薬について</li> <li>2 土壌肥料面からの環境保全型農業の技術紹介 実践事例</li> <li>3 有機農業の意義・目的 県内での有機農業の実践事例等について</li> <li>4 環境保全型農業の取り組み事例 レポート作成</li> </ol>						
成 績 評 価	筆記試験・レポート（70点）・出席状況（15点）・学習態度（15点）						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 6次産業化論			講師名	農政課 吉田 要(6次産業化プランナー)		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義方式						
テーマ及び達成目標	マーケティング概念を理解し、鹿児島における農産物販売への応用、展開をワークショップ形式で実践する。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	講師作成資料等						
授業スケジュール	<p>1 6次産業化の基礎知識</p> <p>2 マーケティングの基礎知識 (1) 食のマーケティング (2) 商品開発</p> <p>3 6次産業化の事例紹介</p>						
成 績 評 価	筆記試験もしくはレポート(100点)						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 農業法人			講師名	農業会議 農業法人経営者等		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義方式						
テーマ及び達成目標	21世紀の農業発展を担う主軸とされている農業法人経営について、農業経営者及び農業・農村の指導者としての理解を深めるために必要な農業法人制度の仕組みや関連法律・施策等を体系的に学習する。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	「農業法人を設立しよう」						
授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農業法人活動を取り巻く諸情勢について</li> <li>2 農業経営の法人化の基本的な考え方，法人経営指導者の心得</li> <li>3 法人設立の手法について</li> <li>4 法人化の経営上，制度上のメリット，留意点について</li> <li>5 農業制度金融について</li> <li>6 農業法人に関する税制・青色申告制度などの特典について</li> <li>7 農業法人経営者等 事例講話(就農相談会)</li> </ol>						
成 績 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験（60点）・出席状況（15点）・学習態度（15点）</li> <li>・レポート等（10点）</li> </ul>						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 農業協同組合と農業リーダー			講師名	J A 中央会 普及情報課農業専門普及 指導員		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義方式						
テーマ及び達成目標	我が国の農家にとって密接な関係にある農協。その農協はどんな組織なのか。どんな活動をしているのか。どうして農協が誕生したのか。今後の農協はどうあるべきなのかをともに考えていく。 また、食料・農業・農村政策を基本に本県の農業政策を学習するとともに、農業リーダーについて学習する。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	作成資料 「私たちとJA」 全国農業協同組合中央会						
授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リーダーとしてのコミュニケーションの取り方</li> <li>2 地域における組織とリーダー及び指導者の役割</li> <li>3 JAのあらましと生き立ち、歩み</li> <li>4 JAの組織・運営とJAの事業と活動</li> <li>5 まとめ・筆記試験</li> </ol>						
成績評価	筆記試験等（70点）・出席状況（15点）・学習態度（15点）						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	(科目名) 農産物の安心・安全			講師名	農学部長, 畜産学部長 農村生活研修課長 農政課		
履 修 学 科	全学科	履修学年	2年	履修時限数	15	単位数	1
授 業 形 態	講義及び演習方式						
テーマ及び達成目標	現在, 食の安心・安全に対する関心はますます高まっている。そこで, 農業生産での安心・安全の確保や食の安心・安全に対し農業に携わるものとしての責務や役割の基礎的な内容を学習する。また, 食品衛生と食品表示や鹿児島における食の安心・安全推進についての理解を深める。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	①講師作成資料						
授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農産物の安心・安全に係る基礎知識, 農薬の適正使用等</li> <li>2 畜産物の安心・安全に係る基礎知識, 動物用医薬品等の適正使用等</li> <li>3 食品衛生と食品表示について</li> <li>4 鹿児島における食の安心・安全推進条例関連施策について</li> </ol>						
成 績 評 価	試験, レポート (100点)						